次世代人材育成・少子高齢化対策特別委員会において質疑

人口減少を緩やかに！子育てしやすい環境づくりと、医療・福祉の充実した徳島県に！

●安心して子育てができる、相談しやすい環境へ！

◦保育所等入所待機児童数を年間通してゼロに

◦「小１の壁」を無くす、ワンストップ相談窓口が必要
妊娠・出産・子育て(幼児期・就学期)・子どもの自立それぞれの時期に合わせた相談・支援体制があるが、就学前後で保健福祉部(厚労省)と教育委員会(文科省)とで、相談体制が切れてしまう …「小１の壁」
⇒ワンストップ相談窓口設置で切れ目無い相談体制に

出産前から自立まで安心して子育てができる環境にするため、県として市町村をしっかりサポートする必要がある！

●徳島県のがん治療体制の充実へ！

◦小児がん(~14才)、AYA世代がん(15才~30才代)の発症数は少ないが、就職・結婚・子育て時期である若年層のがん発症後の生活、がん治療と生活の両立を支援する必要がある

◦「地域がん診療連携拠点病院」と「地域がん診療連携推進病院」の県内における設置状況とその役割、支援について

◦阿南医療センター開設後における「地域がん診療連携推進病院」としての位置づけ、役割について

◦徳島県のがん検診受診率が低い！(全国順位)
大腸がん 33.5% (46位)　胃がん 35% (45位)
子宮頸がん 39% (38位)　肺がん 41% (39位)…

県南部におけるがん治療体制の充実、がん予防(検診受診率アップ)の取組みが必要！

その他 次世代人材育成・少子高齢化対策特別委員会における質疑

◦全国学力テスト、アンケート結果より、国語の読解力・表現力アップにむけた今後の取組み、部活動と学力の関係について

◦県スポーツ振興計画における、競技力アップと健全育成(怪我防止)とのバランスについて

◦子育て世代包括支援センターと、家庭教育支援チームの県内の設置状況について

県土整備委員会(平成28年度２月定例会)における質疑

◦発災時の県庁舎における電源・通信確保を踏まえた県庁BCP(事業継続計画)について

◦消費者庁等移転に向けた、県の取組み・意気込みについて

◦四国横断自動車道、櫛渕地域活性化IC設置に伴う周辺県道整備について

◦無堤防地区(加茂地区など)解消に伴う内水対策として排水ポンプ車の配置・運用状況について

◦南部総合運動公園 陸上競技場の夜間照明の競技用照度への拡張性について

築堤が進む加茂地区(12月視察)

陸上競技場 完成イメージ